

1. 地域社会への貢献

地域社会の交流、家族間のコミュニケーションはもとより、地域住民の福祉の向上と地域の活性化に寄与できる。

2. 競技バレー移行への底辺の拡大

ファミリースポーツとして導入することにより、またレディーススポーツの練習環境（子供達と一緒に）

での子供たちへの影響は大きいと予想されることから、競技としてのバレーボールを、初期の段階から開始

するための条件作りになり得ると思われる。（以下の3. 4. の条件整備も好影響）

3. 教育へのソフトバレーボールの浸透

2002年の小学校新学習指導要領では3、4年生からソフトバレーボールの指導が行われてもよいこととなり、

5、6年生ではバスケットやサッカーと同等に併記されることとなる。したがってこれまで以上に普及が急速的に進むものと思われる。

4. 生涯スポーツとしてのソフトバレーボールの浸透

バレーボールが生涯スポーツとして幅広く普及するには、学校教育におけるバレーボールへの参加者数の増大を

図らねばならない。つまりその経験が、その後の生涯スポーツとしてのバレーボールを支えているように思われる。

したがって、バレーボール未経験で子育てが終わったレディースや定年退職後の熟老年へのバレーボールへの参加は、

技術的に困難を極める。それに対してソフトバレーボールは、導入の困難さは無い。どの段階からどのレベルからでも

ボールに触れ、相手コートに返す技術は容易に獲得される。

5. 全国大会及び指導者講習会等の充実

- ・全国ソフトバレー・ファミリーフェスティバル
- ・全国ソフトバレー・シルバーフェスティバル
- ・全国ソフトバレー・レディース交流大会
- ・全国ソフトバレー・メンズ交流大会
- ・ソフトバレー・リーダー講習会、マスター・リーダー講習会